

No.001

釣行月日: 2018年06月01日(金) 05:00 ~ 18:00

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 15

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 55尾, サイズ: 13cm ~ 19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本鉤, 一角: 6号4本鉤, 韋駄天: 7号4本鉤

内容:

解禁日, 古座川は期待されていて人も多そうだし今回はパス。

全仏オープンで最近寝不足, 熊野へは国道168は夜間通行止めもあるので有田・龍神・富田経由で向かう。

夜中の山道は鹿に注意。道中5頭出沒。必ず見かけるようになった。

オトリ店では知人がお手伝いをされていた。初期の本流は難しいので支流へ。数週間前に見たときには大塔, 赤木とアユが見られたので赤木へ行ってみる。空き地には前日から来られているのか数台の車が止められている。

目的地でもそうなのか? 到着すると2台止まっていた。

一人の方に聞くと橋の上へ入られるとのことなので昨年と同じ場所からのスタートとなりそう。

支度を済ませ, 薄暗い中河原へ降りてオトリを川につける。周囲が明るくなるまで待つことにする。下流には竿を伸ばして準備している。

5時にはオトリを出して始められた。すぐ掛かるだろうと見てるがなかなか掛からない。

自分も竿を出してみることにしてみる。今年は特に老眼が進んだことで仕掛けのセットに苦勞をする。

オトリを川の流りに馴染ませ泳がせるや即反応があり小ぶりながら掛かる。

なんや, 掛かるやんとオトリを付け替え出すやまた掛かる。今度は17cm程のアユ。

10尾位は簡単に掛かる。ポイントを少し変えながらやれば必ず掛かるといった感じ。

まさに解禁日のサラ場。しかし一通り釣れば厳しくなる。

今度は石の周辺をくまなく攻めて時間は掛かるが少しずつ数をのばす。

水温も上がってくると活性が上がってきたのか坊主ハゼの掛かる率が上がり, アユの掛かる率は下がる一方。

場所もなかなか変わることもできず全てのポイントを泳がせるしかない。

移動は自転車レースのため難儀するのは目に見えている。

歩いて釣るしかない。昼過ぎには下流にいた釣り人が居なくなり移動してみる。

残りアユを掛けて何とか40尾を超えた。橋の上流へ居た人も4時頃には居なくなったので上流へ移動。

橋のちょっと上でやるも掛からず根掛かり石と石の間に入り手が入っていかず最終は切れて損失。

ここで止めようかと思ったがさらに上の瀬肩のトロもあるし昨年は掛かったのもう少しやってみることにした。

するとオトリがスーと泳ぐや石裏の際に行くや反応が..., 良型が掛かる。

それをオトリにして瀬型のほうへ上へ行くやまた良い当たり。

入れ掛かりかも? 次から次へ掛かる。

しかし, 対岸の上に地元の方が河岸で何かの洗い物をし出した。その辺にいたアユが散り下流にいたオトリに反応があり当たりがなくなってきた。影響のなさそう少し下流でやってみる。ここでも掛かり始める。

しばらくやったら洗い物をやってた人が居なくなったのでまた瀬肩に移動。

トロでも掛かり55尾になったところで納竿した。



No.002

釣行月日: 2018年06月09日(土) 07:40 ~ 18:00

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 17

河川: 四村川・赤木川(和歌山県)

水況: 15cm程高水, 濁無し

釣果: 43尾, サイズ: 10cm ~ 18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

まずは四村川へ入ってみることにした。

いつもより水が高い。浅いところでは丁度良い状況に思える。水温も低くはない。

平瀬からスタート。良ければすぐに掛かるのだが...

掛からず、少し粘ってみるとキラリとしながら下へ下る。

ようやく天然に変わる。その後チビアユでオトリは厳しいサイズ。

上流の瀬に移動するも掛からず。

さらに上流へ歩いて2つ目の瀬でやってみる。

数尾確保できオトリキープといったところ。

さらに上流へ歩いてやるも掛からず。

また下りながら瀬でボツリボツリと追加する程度。

もう諦め場所移動しようとする。少し下に小さな瀬があり少し覗いてみようとするも掛かる気がしない。

駄目かなとちょっと上の浅場でオトリを見てると傍に野アユが来ているのが見えた。

暫く様子を見てたら掛かる。同じ様に泳がせてたらまた掛かる。

2時頃までやって30尾強。

前日の雨で水が増え濁りは無いがゴミが流れてくる影響があるのかアユが動きが今一なのか?

場所を赤木川へ移動。

前回夕方良かったトロ場に行ってみる。

一発目はすぐに掛かりしかも四村川より少し大きめ。

次も掛かる。その後は厳しく根掛かりが多発。木の枝が多くやり辛い。

結局十数尾追加した程度で終了。



No.003

釣行月日: 2018年06月16日(土) 07:00 ~ 18:00

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 17

河川: 熊野川(和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 38尾, サイズ: 10cm ~ 18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT 早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

解禁からほとんど人が入っていないので状況確認のため竿を出してみることにする。

流石に釣り人が居なく貸し切り状態。

小さいアユが跳ねている。まだ早いのか?

左岸より慎重に泳がせる。やはりなかなか掛からず厳しいのか?

そうこうしているうちに何とか掛かる。

小さく黄色くない。オトリには何とか使えるくらい。

入れ掛かりはないが同じようなサイズしか掛からない。

対岸へ渡る。なぜか黄色いアユが掛かった。型も丁度よい。

連発はないものの飽きない程度に掛かる。

昼前から数人上下に来られたが50m以上の間隔なので掛かっているのか確認できなかった。
 昼頃から雲が出てきて風も強く竿を持つのが精一杯の時もあり体のあちらこちらが痛くなる。
 だんだんと寒くなってきて釣り日和ではない。
 夕方6時ごろまでやって40尾まで届かなかった。
 いつもの坊主ハゼにやられて仕掛けを何度も交換しなければならない。
 鼻カン周りは多めに用意しておいたほうがよい。
 7月頃にはもう少し掛かるペースが上がってくることを期待。



No.004

釣行月日: 2018年06月17日(日) 08:00 ~ 17:40

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 19

河川: 大塔川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 41尾, サイズ: 10cm ~ 20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本鉤, 一角: 6号4本鉤, 韋駄天: 7号4本鉤, キメラ: 6.5号4本鉤

内容:

民宿大村屋で宿泊していたので午前中はその前で釣り開始。

解禁は20尾程掛かり数日前も掛かったそうとか。

平場の浅い所から始める。掛かるアユは白く安曇川サイズ。数尾掛けたところでつり橋周辺に移動。

ここもサイズは小さいが型は少しサイズアップ。

今度は橋の下の深トロ。

ここは何匹かは良型が掛かるところ。

早速大石周辺を泳がせると目印が勢いよく水中に引き込まれた。

18cmの黄色いアユ。続けて掛かる。これでオトリが確保できたので少し場所を変えてやる。

良型の黄色いアユばかり掛かる。

亀屋まで移動したが小さい坊主ハゼが連発してきたので止める。

1時過ぎまでやって28尾。

大村屋さんが用意してくれてた弁当を食べてから場所移動。

出合周辺は5人前後いたのでパス。学校裏が空いていたので入ってみる。

瀬型の上のトロからスタート。思っていた以上の上流へ泳いでいくが何故か掛かる。

それも黄色い良型。瀬のきつい所や瀬肩は坊主ハゼの攻撃にあうことが多いのであえてあまりやる気が起こらない。

それでもトロでも坊主ハゼにやられてしまう。

結局掛かったのは深トロが殆ど。

もう少し日が照りこんでくれれば活性も上がったであろうに...



No.005

釣行月日: 2018年06月22日(金) 07:30 ~ 18:20

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 16

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 31尾, サイズ: 14cm ~ 20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

解禁日の2週間前に下見をしたときはアユが群れていてポイントも限られてそうなので暫くは他の河川に行こうと思っていた。

本日が自分にとって上桂川の解禁日となる。

何処に入ろうかと迷う。亀の甲橋下流に入ってみる。

棚のポイントが空いていたのでここからスタート。瀬落ちでひとり釣っていた。ポツリポツリと掛かっているのだろう。水温が低く追いはまいちとのこと。

水温も16度とまだあまり活性は良くないのか?

石裏の後ろの掘れた溝からスタート。

三本錨では蹴られてそうなので4本に変えるや勢いよく目印が走る。

20cmの良型とはびっくり。

入れ掛はなくポイントを的確に辛抱して泳がせて数を増やしていく。

平日にも関わらず場所移動できないくらいの釣り人となった。

昼過ぎまでやって18尾。水温が上がってきて活性が上がったのが瀬で掛かるようになってきた。しかし瀬で掛かるアユは15cm程。

場所移動することに。

中江橋でやろうと行くと満員状態。

さらに下流へ... 殿橋上流も人が一杯。

浅い早瀬が空いていたので入ってみることにした。あまり石が大きい活性が上がれば掛かるはずだが...掛からず。

上の瀬が空いたので行ってみる。

手前の瀬わきから入れて泳がせると目印が上流へ突っ込む。

2尾程掛かるも後が続かず。草刈りの草が流れてきて糸に絡んだり根掛りが頻発してオトリの循環が悪くなる。

夕方遅くまでやって何とか30尾強。

釣り人が多いので場所の選択が重要となってくる。

次回は何処へ行こう?



2018年版 [釣行回数 : 5回 平均釣果 : 41.6尾 総釣果 : 208尾 1日最高釣果 : 55尾 最長寸 : 20cm]